

葛城市

第1回

ケアマネジャーの
皆さまと共に学ぶ！

ご利用者が望む『自立』とは
～リハビリと探す「出来ること」の目標～



令和8年3月18日(水) 葛城市中央公民館

今回の研修会では、葛城市のケアマネジャーの皆さんと沢山の実際のある情報を共有させていただきました。事例で紹介させていただいたケースから、ケアマネジャーとリハビリの連携の在り方を再認識していただける機会になったのではないかと感じています。また、「ICFの情報整理はあまりしないかなあ」

「リハビリ計画書がケアマネやご利用者にとっても分かりにくい」「リハビリ会議って…」というようなお声から「自分たちは、評価が出来ないからリハビリにお願いします。」「参加や目標の設定が不明確になる」等、今後もこのような「共に学ぶ場」を大切にしていきたいと思っています。

本人が望む、事の進め方ができなくなり、実行が不安定になっても、数回にこの事を共有させていただくことでよい。

継続が難しく、ベッド上の生活になっても僕は、病院から見える景色をいつも見つけていたそうです。

奥さんは、僕のその姿をみたら涙が止まらなくなったと話していました。

奥さんとケアマネさんと連携し、なぜか可能と思われ、僕の思いが叶えたいと思ったので、分かっていただけたと思います。

